National
松下電工

（保証書別添）
（保管用）

屋外設置型

生ごみイーター

一般家庭用

1500タイプ　TK401-H

取扱説明書

お買い上げありがとうございました。
よくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
生ごみイーターについてのご不明点があれば
フリーダイヤル（無料）0120-27-3897をご利用ください。
受付時間9:30～12:00・13:00～17:00　祝祭日以外の月～金（ただし休みの場合がございます）

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	人が傷害を負う危険及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例

⃠ 記号は、**禁止**の行為を示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗ 記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

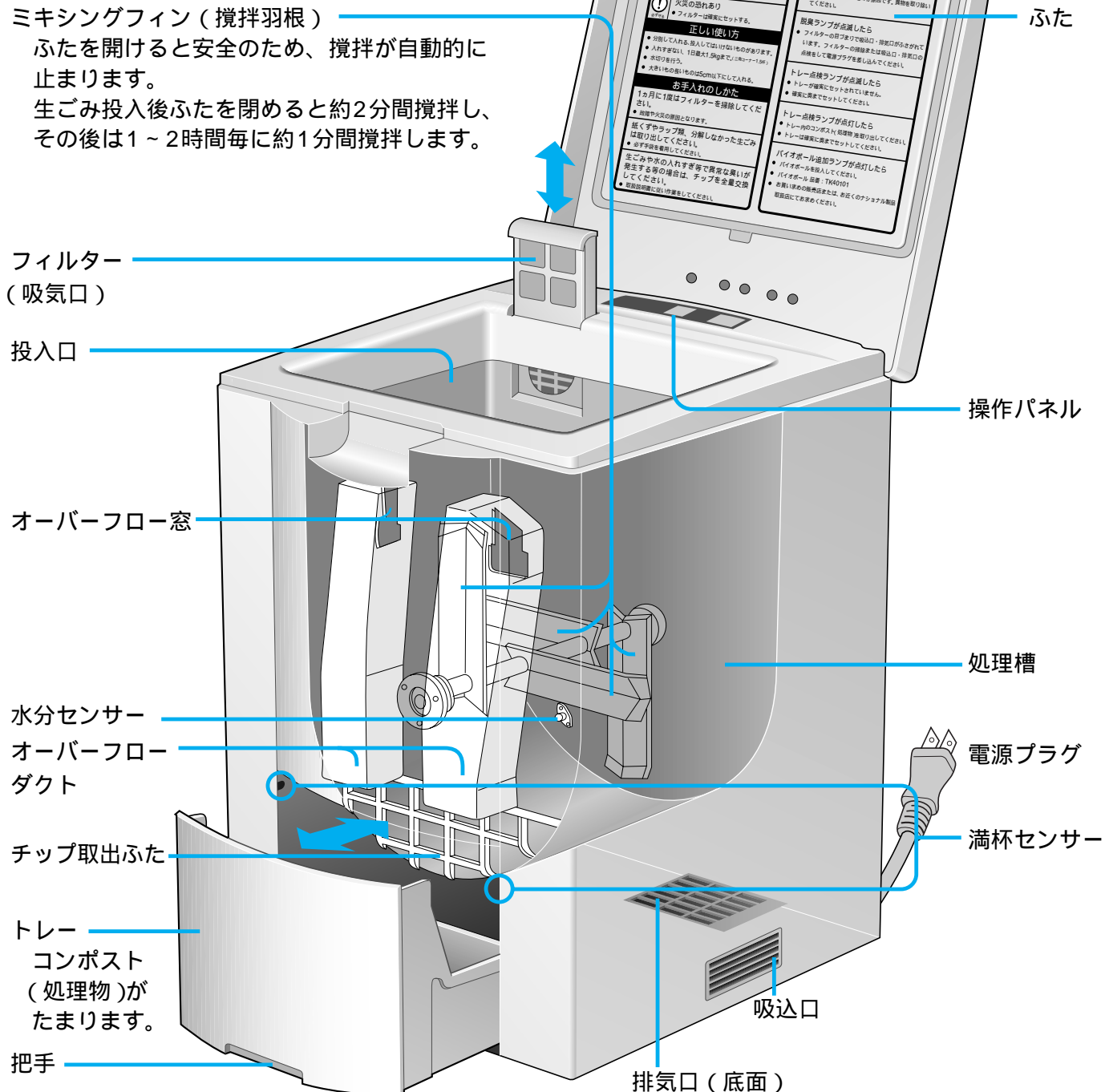
必ず守る	コンセント部にホコリがついた場合は、電源プラグを抜いて乾拭きしてください	湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります
	電源プラグは根元まで確実に差し込んでください 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください	差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります
	フィルターは確実にセットしてください（☞10ページ）	確実にセットされていないと発熱による火災の原因となります
	防水コンセントを使用してください	守らないと感電や漏電火災の原因となります
禁止	直接雨ざらしになる場所や雨水がたまり水浸しになる場所で使用しないでください	感電や漏電火災の原因となります
	本体および処理槽内を水洗いしないでください	感電や漏電火災の原因となります
接触禁止	通電中および電源プラグを抜いてから1時間以内はバイオチップや処理槽の内部に顔や手などを入れないでください	熱をもっているため火傷やケガをするおそれがあります
ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグに触れないでください	感電のおそれがあります

⚠警告

禁止	ベランダの手すり側に置かないでください	お子様の転落事故の原因となります
	コードを途中で接続したり、延長コードを使用しないでください	感電や発熱による火災の原因となります
	本体や処理槽には、灯油・ガソリン・LPガス・シンナー・アルコールなどやそれらが付着したごみを絶対に入れたり近づけたりしないでください また、可燃性の殺虫剤・消臭剤などをスプレーしないでください	爆発や火災の原因となります
	本体の上に乗ったり、腰かけたり、重いものを載せたりしないでください	変形・破損・転倒によりケガをするおそれがあります
	幼児にさわらせないでください	ケガをすることがあります
	本体に磁石などを近づけないでください	誤動作を起こし、ケガの原因となります
	電源コードを破損するようなことはしないでください(傷つけ､加工､無理な曲げ､引っ張り､ねじり､重いものをのせる､挟み込むなど)	感電・ショート・発火の原因となります
	コンセントや配線器具の定格を越える使い方や、交流100V以外での使用はしないでください	たこ足配線等で、定格を越えると、発熱による火災の原因となります
	バイオチップ・バイオボール・コンポスト（処理物）を目や口に入れたり、素手でさわらないでください ●バイオチップ・バイオボール・コンポスト（処理物）に触れた時は必ず手を洗ってください	生ごみを投入後のバイオチップ・バイオボール及びコンポストは土や堆肥と同じです 衛生上好ましくありません
分解禁止	本機の分解・改造は行わないでください	火災・感電のおそれがあります ●修理はお買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください

⚠注意

必ず守る	ブロックまたは専用架台の上に設置してください（☞7ページ）	直置きすると冠水による感電や、排気ができず故障や過熱の原因となります
	コンセントから抜く場合は必ず電源プラグを持ってください	コードを引っ張ると破損し、感電・ショート・発火の原因となります
禁止	傾いた状態で設置しないでください	本体が転倒し、事故のおそれがあります
	大きいものやかたいものなどは、投入しないでください	撹拌異常による故障の原因となります
火気禁止	火気の近くに設置しないでください また可燃性のものや火のついたたばこなどを投入しないでください	本体の変形によるショート・発火の原因となります

各部のなまえ

●生ごみを分解処理後トレーにたまる処理物などをコンポストと呼びます

電源ランプ
●電源プラグをコンセントに差し込むと、通電状態となり、電源ランプが点灯します。

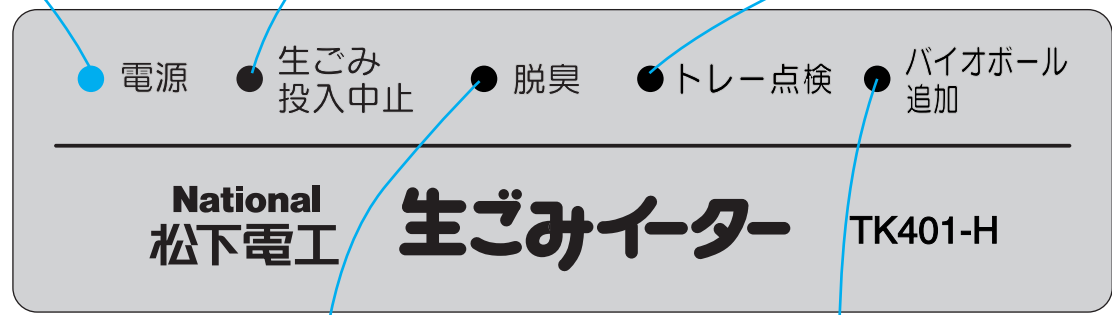
生ごみ投入中止ランプ
●運転中、水分センサーの働きにより、バイオチップの状態を検知してお知らせします。（☞5ページ）

トレー点検ランプ
●コンポスト（処理物）の取り出し時期を点灯してお知らせします。（☞5ページ）

表示パネル（ふた面）
ふたを閉じた状態で確認できます

電源　生ごみ投入中止　脱臭　トレー点検　バイオボール追加

National 松下電工

TK401-H

脱臭ランプ
●脱臭運転時に点灯します。

バイオボール追加ランプ
●バイオボールの追加時期を点灯してお知らせします。（☞5ページ）

操作パネル（本体内）
ふたを開けた状態で確認できます

電源　生ごみ投入中止　脱臭　入/切　トレー点検　バイオボール追加　リセット

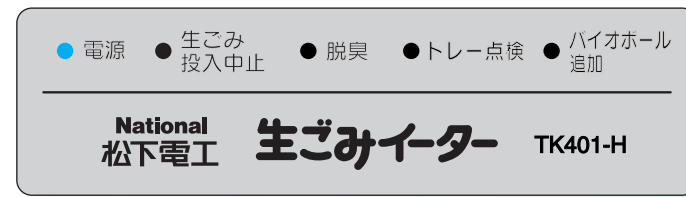
脱臭運転ボタン
●多量の生ごみを入れた時や、においが気になる時にお使いください。
●脱臭運転するとき押します。（脱臭ランプ点灯）
●脱臭運転を中止するとき押します。（脱臭ランプ消灯）
約1週間生ごみを投入しない場合は、自動的に「切」になります。

リセットボタン
●バイオボールを追加した後に、必ず押してください。
（バイオボール追加ランプが消灯してリセットされます）

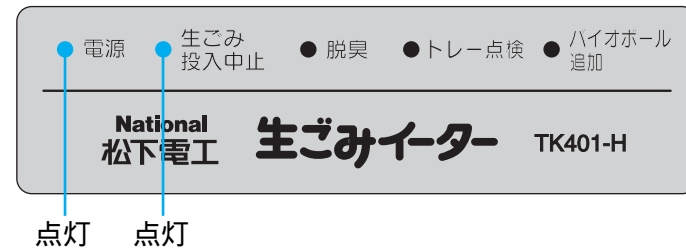
同梱品（処理槽内部に入れてあります。電源を入れる前に必ず取り出してください。）

バイオチップ　1袋
（約10L）
オガクズに似た多孔質の木片で特殊加工したもの。微生物を活発化する為に必要な基材です。

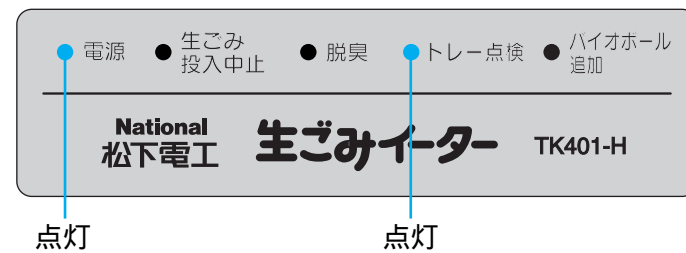
バイオボール　1袋
（約750mL）
表面、内面に微細な気孔を持ったセルロース粒子です。バイオチップの通気性を保ちチップの長期使用を可能にしました。
バイオボールは生分解性の地球にやさしい素材です。

表示ランプの説明

通常運転中（ふたが閉められた状態）にバイオチップの状態、本体の運転状態に変化があれば表示ランプが点灯・点滅してお知らせします
各部分の点検・保守を行ってください

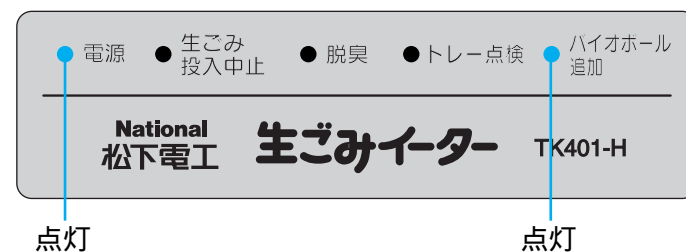
点灯した場合（お手入れが必要です）

生ごみ投入中止ランプが点灯した場合

バイオチップがベタついている
生ごみの入れすぎです。生ごみの種類・水分の量によっても生ごみ投入中止ランプが点灯します。
（そのまま入れつづけると、においの原因になります）

ランプが消えるまで投入を控えてください
投入を控えても生ごみ投入中止ランプが消えない場合は水分センサーにチップが付着していないことを確認してください（☞19、20ページ）

トレー点検ランプが点灯した場合

トレーが満杯になっている

コンポスト（処理物）を取り出してください
取り出したコンポスト（処理物）は…
・園芸用の堆肥としてご使用できます(☞16ページ)
・可燃ごみとして処分できます

バイオボール追加ランプが点灯した場合

バイオボール追加の時期です

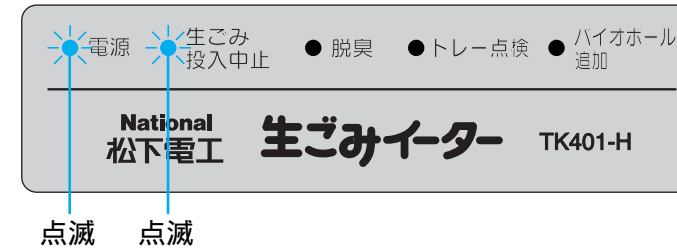
バイオボールを追加してください（☞17ページ）

点滅した場合（点検が必要です）

電源ランプ･生ごみ投入中止ランプが点滅した場合

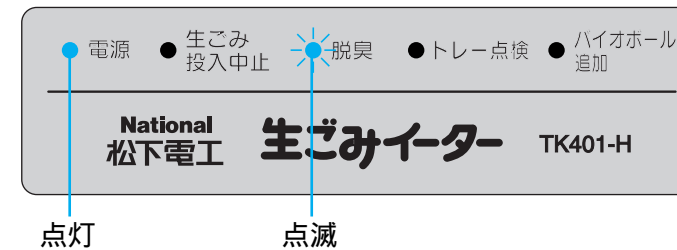
本体内部に異物がひっかかっている

電源プラグを抜いて次の処置を行ってください

異物をとり除いて電源プラグを差し込んでください
（☞20ページ）

チップがカラカラに乾燥している、またはだんご状に固まっている

（カラカラに乾燥している場合）
水500mLを均一に散水し、電源プラグを差し込んでください

（だんご状に固まっている場合）
スコップなどでだんご状に固まっているチップをほぐし、電源プラグを差し込んでください

脱臭ランプが点滅した場合

フィルターが目づまりしている
または吸込口・排気口がふさがれている
電源プラグを抜いて次の処置を行ってください

フィルターの掃除または吸込口・排気口の点検をして電源プラグを差し込んでください（☞20ページ）
設置場所を再度確認してください（☞7ページ）

トレー点検ランプが点滅した場合

トレーが開いている

トレーを奥まで確実にセットしてください

点検表示ランプ全てが点滅した場合

販売店に点検を依頼してください

設置する

バイオチップ・バイオボールが処理槽内に入っています。電源を入れる前に必ず取り出してください

■設置場所

風通しの良い屋外に設置してください

- 室内やお隣りへ、においが流れない場所を選んでください
- 窓のすぐ近くや換気扇の吸込口の近くに設置すると、風むきにより、においが室内に入ってきますので窓から離してください
- 室内・ガレージ・物置などへの設置は、においがこもりますので避けてください
- 直接雨ざらしにならない場所に設置してください（ベランダ・軒下など）

必ず防水コンセントを使用してください

（松下電工　品番WK2113
又はWK2111）

- 防水コンセントが無い場合は、電気店にご相談ください

■設置のしかた

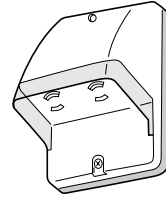
直置きしないで必ず専用架台または市販のブロックを敷いてください

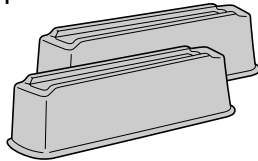
- 積雪・たまった雨水等で排気口（底面）がふさがると、排気できずに故障や過熱の原因になります

本体はできるだけ水平になるように設置する

- 傾いた状態ですと転倒し、事故のおそれがあります

壁から15cm以上離し、排気口および吸込口付近に物を置かないでください

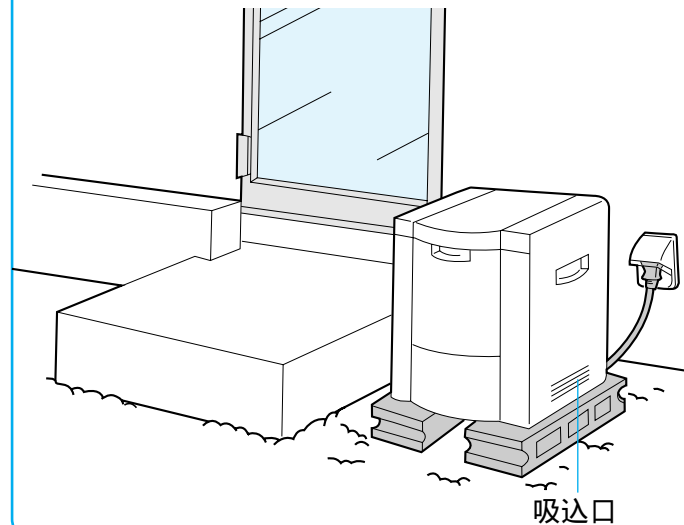
別売品

お買い求めの販売店または、お近くのナショナル製品取扱店にてお求めください

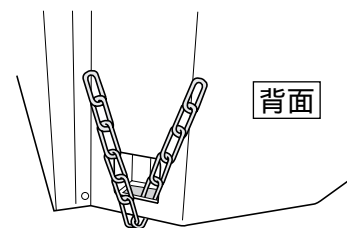
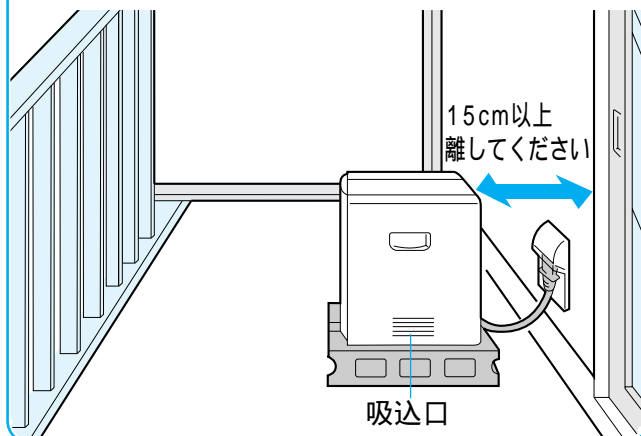
専用架台
品番TK40104
標準価格　2,000円（税別）

戸建住宅の場合

雨水がたまり水浸しにならない場所に設置してください

マンション（ベランダ）の場合

屋側の避難経路や消防隊進入の障害にならない場所に設置してください

ベランダの手すり側には設置しないでください
お子様の転落事故の原因となります

■盗難防止のために

- 盗難防止が必要な場合は市販のチェーン等をお買い求めの上、穴に通して利用ください

強風の時は、ふたが開かないようにガムテープなどで止めてください

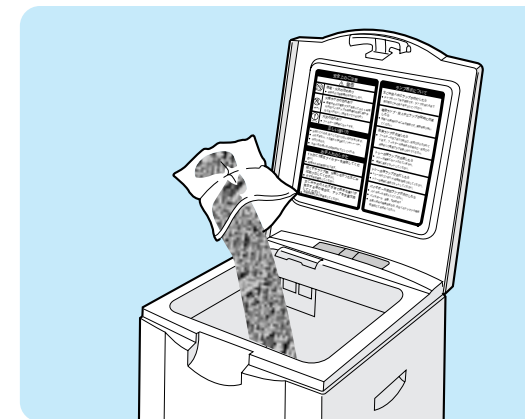
ご使用サイクル

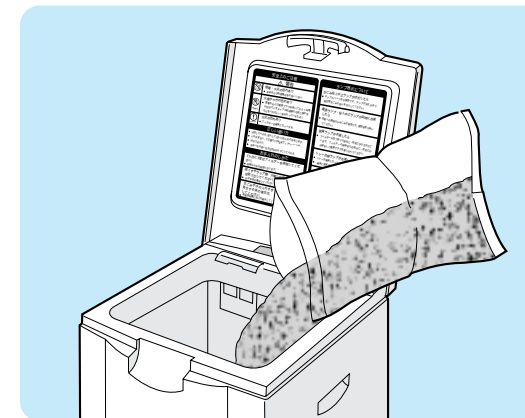
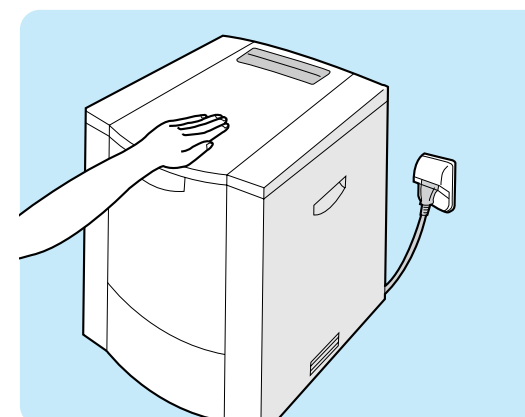
運転準備

バイオチップ・バイオボールを投入する

付属のバイオチップ・バイオボールが処理槽内に入っています。電源を入れる前に必ず取り出してください。

1 ふたを開け フィルターを確認する

●フィルターが奥まで入っているかを確認する

2 バイオボール（1袋）を 処理槽内に全量入れる

●バイオボールを先に入れてください
（バイオチップの混ざりをよくするため）

3 バイオチップ（1袋）を 処理槽内に全量入れる

4 ふたを閉め、 電源プラグを差し込む

●本機の電源が入ります⇨電源ランプ点灯
（電源を入れると内部の吸気ファンが常時運転します）
●ふたを閉めると運転開始
（ふたを閉じた時、約2分間攪拌、その後は1〜2時間毎に約1分間攪拌します）
●バイオチップ、バイオボールが新しい間（1週間程度）はコスレ音がします。異常ではありません

日常の使いかた

ふたはこれ以上開きません
（無理に力を加えると
ふたがはずれます）

約90°

においが気になる時は

脱臭運転（特に魚介類などのにおいの出やすい生ごみを入れた時に）

- **本機による分解処理により微生物が活発化すればにおいが出にくくなりますが、多量の生ごみ・魚介類を入れた時などはにおいが強くなります**
  （多量の生ごみ、魚介類を入れた時などはにおいが強くなり、充分に脱臭できない場合があります。）
- **生ごみだけでなく処理物にもにおいがあります**
  （脱臭運転を使用しても完全に消えることはありません）

電源　生ごみ投入中止　脱臭 入／切　トレー点検　バイオボール追加 リセット

1 ふたを開け、脱臭ボタンを押す（脱臭ランプ点灯）

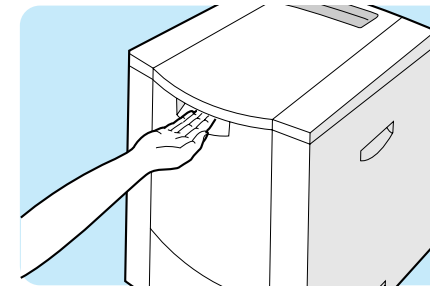
- 脱臭を開始してから効果が出るまで約1時間かかります
- 脱臭運転時、投入口の周囲や本体表面が少しあつく感じることがありますが、異常ではありません
- 3～6日間生ごみを投入しない場合（ふたを開けない場合）は、脱臭運転が自動的に「切」になります。

2 脱臭運転を中止するときは ふたを開け 脱臭ボタンを押す（脱臭ランプ消灯）

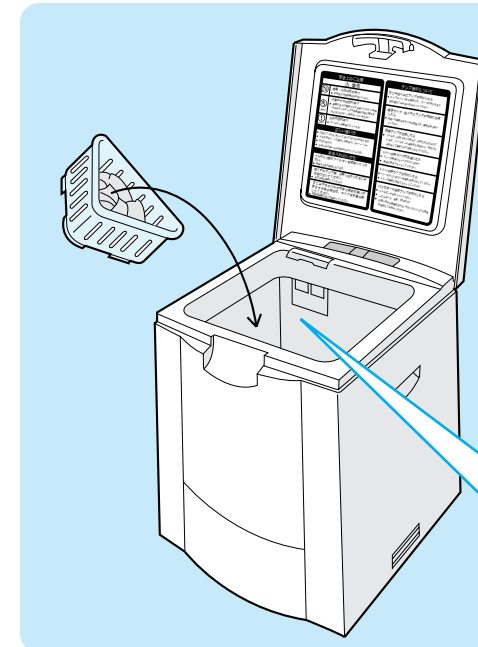
- 脱臭運転を停止します

お知らせ

- バイオチップは最初微生物が少なく、活発に生ごみを分解処理するようになるまで（微生物を育てる）時間が必要です（夏期：5～7日　冬期：7～10日）
  この間投入した生ごみが分解せずに残ったり、においが強くなることがありますが微生物が活発化すれば無くなりますので異常ではありません
  また運転開始後、約3日間は微生物を活発化させるため自動的にヒーターが入る「立ち上げ運転」をします。
- 長期間（1ヵ月以内）ご使用にならない場合でも電源は切らないでください。電源を切ると分解が途中で止まってにおいが発生します。
  3～6日間使用しない場合、自動的に最小限の維持運転に切り替わります。（維持運転時、脱臭運転は切になります）
- ただし、1ヵ月以上ご使用にならない場合は、電源プラグを抜き、バイオチップ・バイオボールを取り出してください。（取り出しかたや取り出したバイオチップ・バイオボールの処理のしかたは☞20ページ）

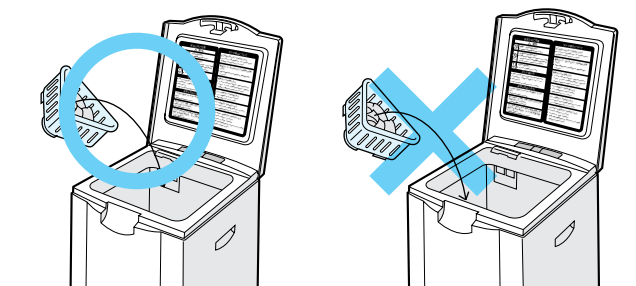
1

ふたを開ける

- 本体内から水蒸気やふたに水滴が（冬場は特に）発生することがありますが、異常ではありません

2

水切りしたものを入れる

上手に生ごみを投入しましょう。
生ごみの投入のしかた（☞13、14ページ）

- 使い始め（夏期：5～7日、冬期：7～10日）は
  生ごみを毎日投入する
  この間の投入量…300g～700g／日
  においの強い生ごみは控える（魚介類のアラ、腐った食品など）
  （守らないと微生物の活発化が遅れにおいが強くなったり十分な生ごみの分解が出来ません特ににおいが気になる使い始めの1週間は脱臭運転をおすすめします。）

- 処理槽の奥に生ごみが入るように入れてください

- 投入口の周囲や本体の表面が少しあつく感じることがありますが、異常ではありません
  （バイオチップが生ごみを分解するために熱をもっています）

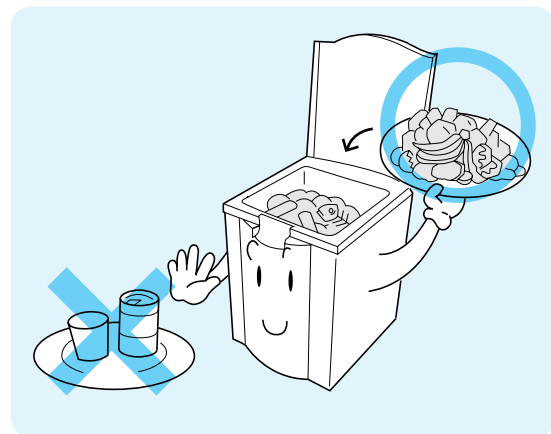
3

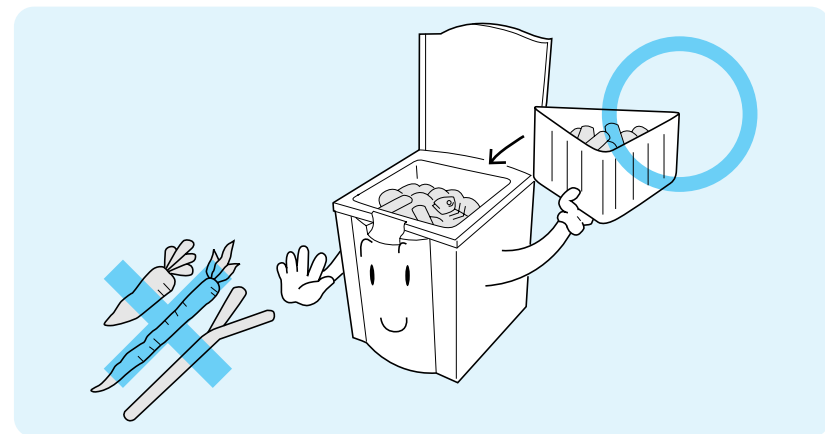
ふたを閉める

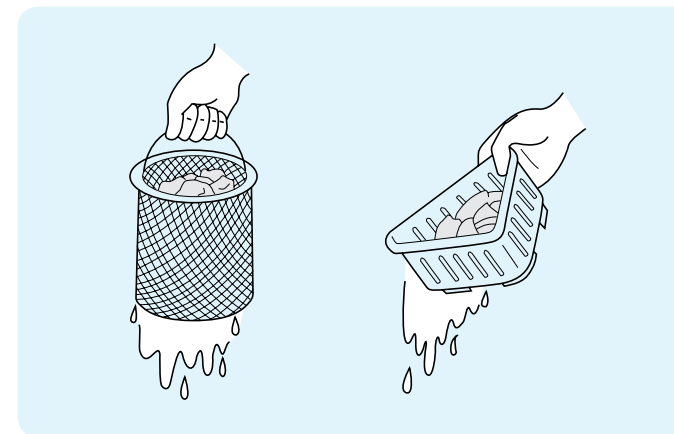
- 一定時間自動的に撹拌します
  （ふたを閉じた時、約2分間撹拌、その後は1～2時間毎に約1分間撹拌します）

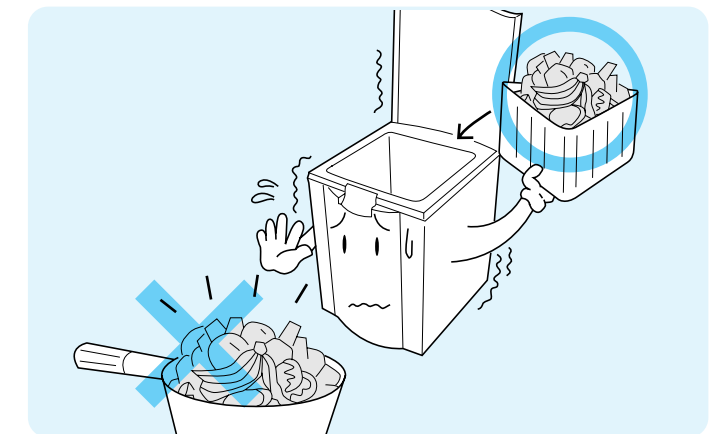
使いかた

生ごみの投入のしかた

分別して入れる

- 投入できるものと、投入してはいけないものがありますので、あらかじめ必ず分別してください
- ポリ袋や紙の水切り袋のまま入れないでください
  （撹拌羽根にからまり、故障の原因となります）

硬くて大きいものや長いものは小さくする

- かぼちゃなど大きくて硬いものや、果物の皮・長ねぎの白根など丈夫な繊維質の長いものは小さく5cm程度に切ってから入れてください
  （撹拌羽根にからまり、回転を妨げ撹拌異常の原因になります）
- おにぎりのようなだんご状のものは、分解しやすくするためにほぐして入れてください
  （においの原因になります）

水切りを行う

- 生ごみを投入するときは、なるべく水がたれない程度に水切りをしてください
  （水切りが不十分ですとベタベタになり、においの原因になります）

入れ過ぎない〈1日最大1.5kg〉

- 1日に投入できる生ごみの量は、最大1.5kgまでです
  三角コーナーに約1.5杯分を目安にしてください
- 1日に1.5kg以内の範囲で、2〜3回に分けて投入してください
- 1.5kg以上投入するとバイオチップがベタつき処理が遅くなり、においの原因になります
- 生ごみの種類、水分の量によって生ごみ投入中止ランプが点灯します（☞5ページ）

投入できるもの

分解に時間がかかるもの

魚・鶏の骨・カニ・エビのカラ

トウモロコシの芯

卵のカラ

ミカンの皮

豆類の皮

⇨分解に時間がかかりますので、時々取り除いてください（☞19ページ）

においが強く出るもの⇨においが気になる時は脱臭運転をお使いください（☞11ページ）
- においの強いもの、一度に多量の魚やイカのアラなどを入れないでください。
  （においがすることがあります。アラは1日300g以下が目安です）

その他、一般的に人間が食べられるもの

投入してはいけないもの（異物類）

内部にたまって故障の原因になります

- 牛・豚の大きな骨
- 貝殻類
- とうもろこしの皮・玉ねぎの薄皮
- 花・落葉・草・芝生
- ガム
- ティーパック・紙類・繊維類・食品の乾燥剤
- 割り箸・つまようじ・竹串
- プラスチック類・ゴム類・ポリ袋（ごみ袋など）
- 金属類・ガラス・陶器（ビールの栓など）

微生物（バイオ）が住めなくなる原因になります

- たばこの吸いがら、灰
- 薬・抗生物質類
- 大量の塩や塩分の多いもの（みそ、しょうゆ）
- たけのこ・栗の皮
- 洗剤・漂白剤石けん・歯磨き
- 化粧品・整髪料
- シャンプー・リンス
- 化学製品・医薬品
- 高温の生ごみ
- 腐敗した生ごみ

内部がベタつき、においの原因になります

- 大量の油・牛乳・酒・酢などの液体
- 凍った食品

その他、人間が食べられないもの

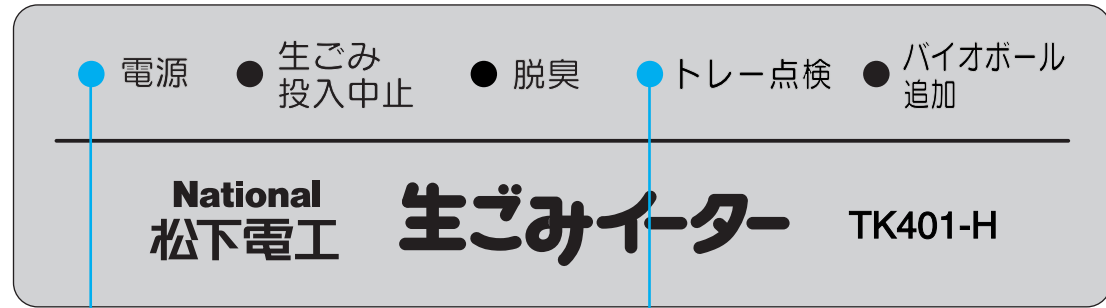
誤って多量に投入した場合はバイオチップの交換が必要になる場合があります

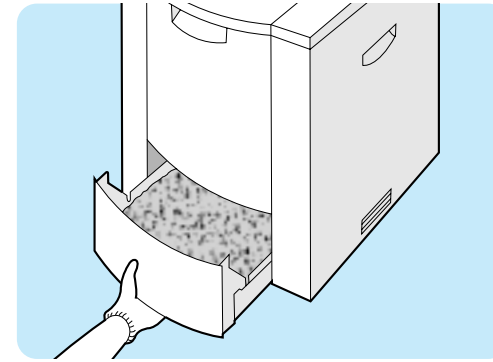
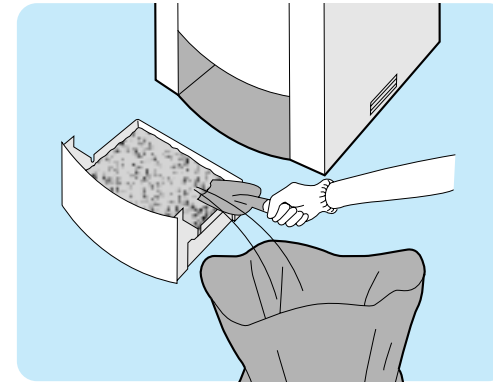
使いかた

コンポスト（処理物）の取り出しかた

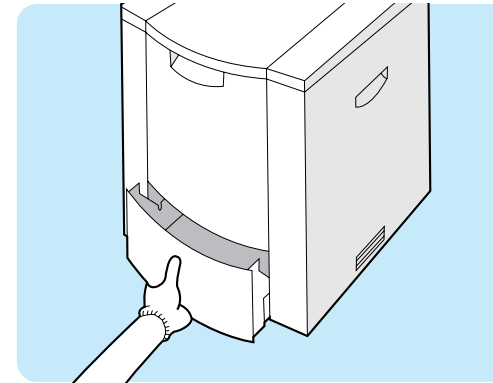
トレー点検ランプが点灯しコンポスト（処理物）の取り出し時期をお知らせします

（トレー内のコンポスト（処理物）が満杯になるとセンサーが検知し、トレー点検ランプが点灯します）
取り出し時期の目安：約1ヵ月
（コンポスト（処理物）の取り出し時期は生ごみの投入量によって異なります）

●コンポスト（処理物）を取り出すときは手袋を着用してください
●ポリ袋・手袋を用意してください

コンポスト（処理物）が満杯になっていない場合でもトレー点検ランプが点灯することがあります
その場合は、満杯センサーの汚れを拭き取ってください（☞19ページ）

トレーを引き出す

コンポスト（処理物）をポリ袋に取り出す

●コンポスト（処理物）に触れた時は必ず手を洗ってください
（土や堆肥と同じです）

3 トレーを本体にはめる

●トレー点検ランプが消灯していることを確認してください
●トレーを本体にはめた後、トレー点検ランプが点滅している場合は、トレーを奥まで確実にセットしてください

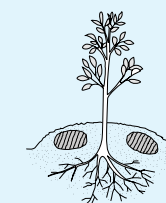
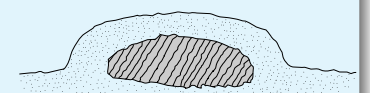
■コンポスト（処理物）の処置方法

●可燃ごみとして処分できます

●堆肥としてご使用できます

堆肥として使う方法は…

プランター等で活用する場合
10～20倍の土と混ぜ合わす
約1ヵ月放置し
完熟してから
ご使用ください

庭等の植物に追肥する場合
庭の土の上に放置する植物の周囲にあまり近づけないように適量まいてください

畑等で完熟肥料を作る場合
まいたコンポスト（処理物）を覆いかぶせるように土をまきます
約1ヵ月で完熟肥料となります

未熟な堆肥を使用すると、有機物が微生物に分解されるとき、ちっ素が消費されます
すると、一時的に土の中が、ちっ素不足となり、植物に悪影響をおよぼすことがあります

使いかた

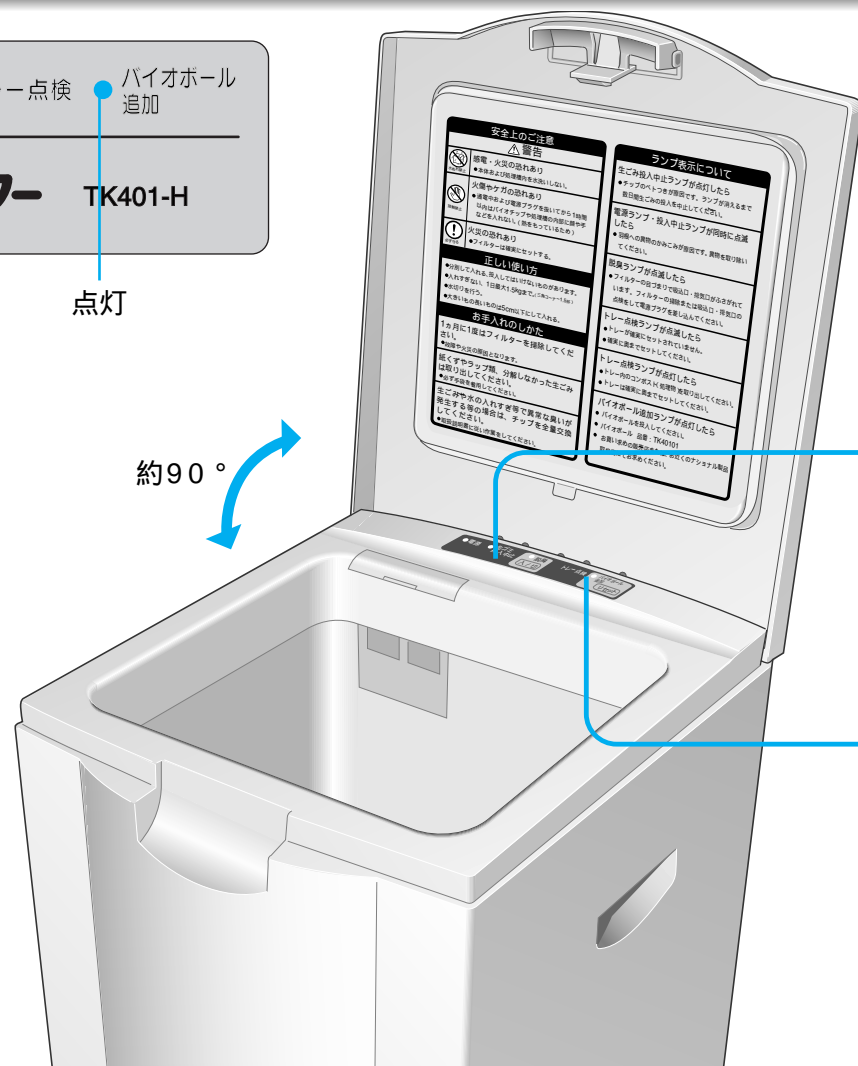
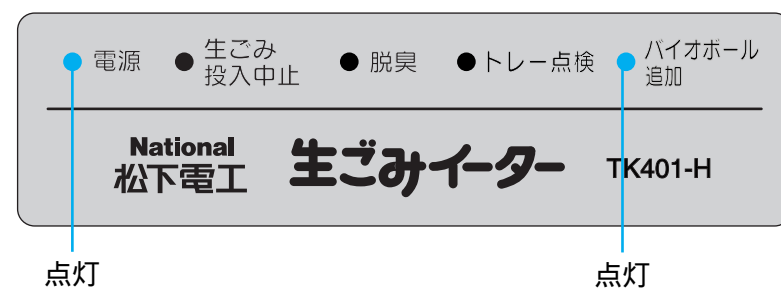
バイオボールを追加する

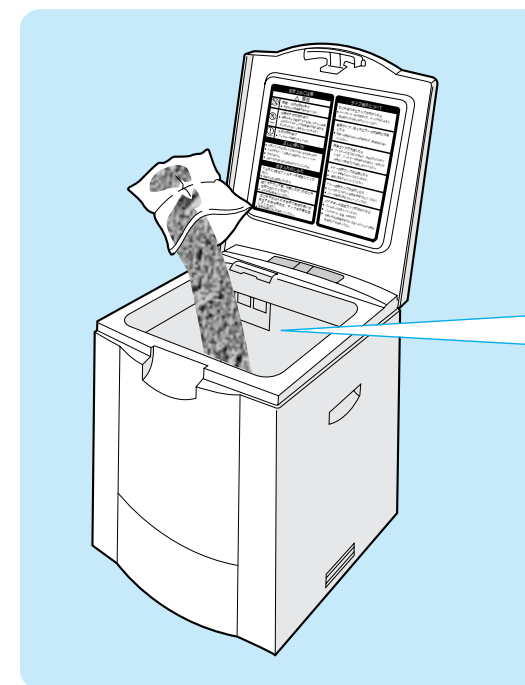
性能維持のため必ず3ヵ月ごとにバイオボールの追加をしてください
(バイオボールを追加しないと、においが強くなったり十分な生ごみの分解ができません)
使い始めて約3ヵ月経過すると、バイオボール追加ランプが点灯しバイオボールの追加をお知らせします
(点灯時期は目安です。積算タイマーにより電源プラグを差し込んでから約3ヵ月後に点灯します
電源プラグの抜き差しを行った場合や停電などの場合はリセットされます)

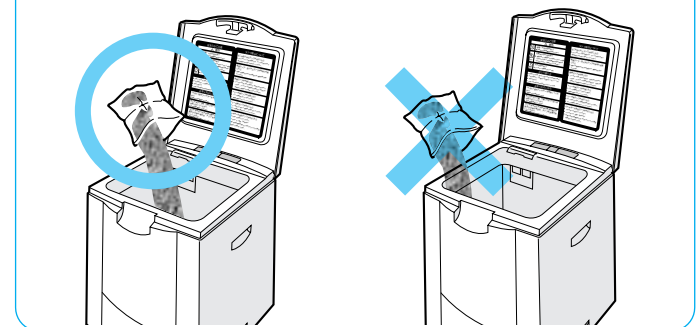
また使用条件、生ごみの種類、量によって次のように変化した場合はバイオボール追加ランプが点灯しなくてもバイオボールを追加してください
- バイオチップがひんぱんに、だんご状の固まりになる
- においが強くなる
- 分解されにくい生ごみが目立つようになる

お願い
- バイオボールは必ず専用のものをお使いください
- 追加用バイオボールは子供の手の届かない直射日光の当たらない場所で保管してください

別売品
お買い求めの販売店または、お近くのナショナル製品取扱店にてお求めください

追加用バイオボール
(約750mL×4袋)
品番：TK40101
標準価格　2,400円(税別)

■追加のしかた

1

ふたを開け バイオボール（1袋）を処理槽内に全量入れる

- 処理槽の奥にバイオボールが入るように入れてください

2

リセットボタンを押す

- バイオボール追加ランプが消灯していることを確認する

3

ふたを閉める

- 運転を開始

使いかた

お手入れ

■まずはじめに

通電中および電源プラグを抜いてから1時間以内はバイオチップや処理槽の内部に顔や手などを入れないでください
熱をもっているため火傷やケガをするおそれがあります

本体や処理槽に可燃性の殺虫剤・消臭剤などをスプレーしないでください
爆発や火災の原因となります

水洗いはしないでください
感電や故障の原因となります

本体

(外装・ふた・投入口・トレーのまわりなど)

- **虫が寄りつかないようにするためにうすめた中性洗剤で、付着したごみ・汚れを拭きとってください**

ベンジン・シンナーなどで本体を拭かないでください
変形・変色の原因となります

オーバーフロー窓

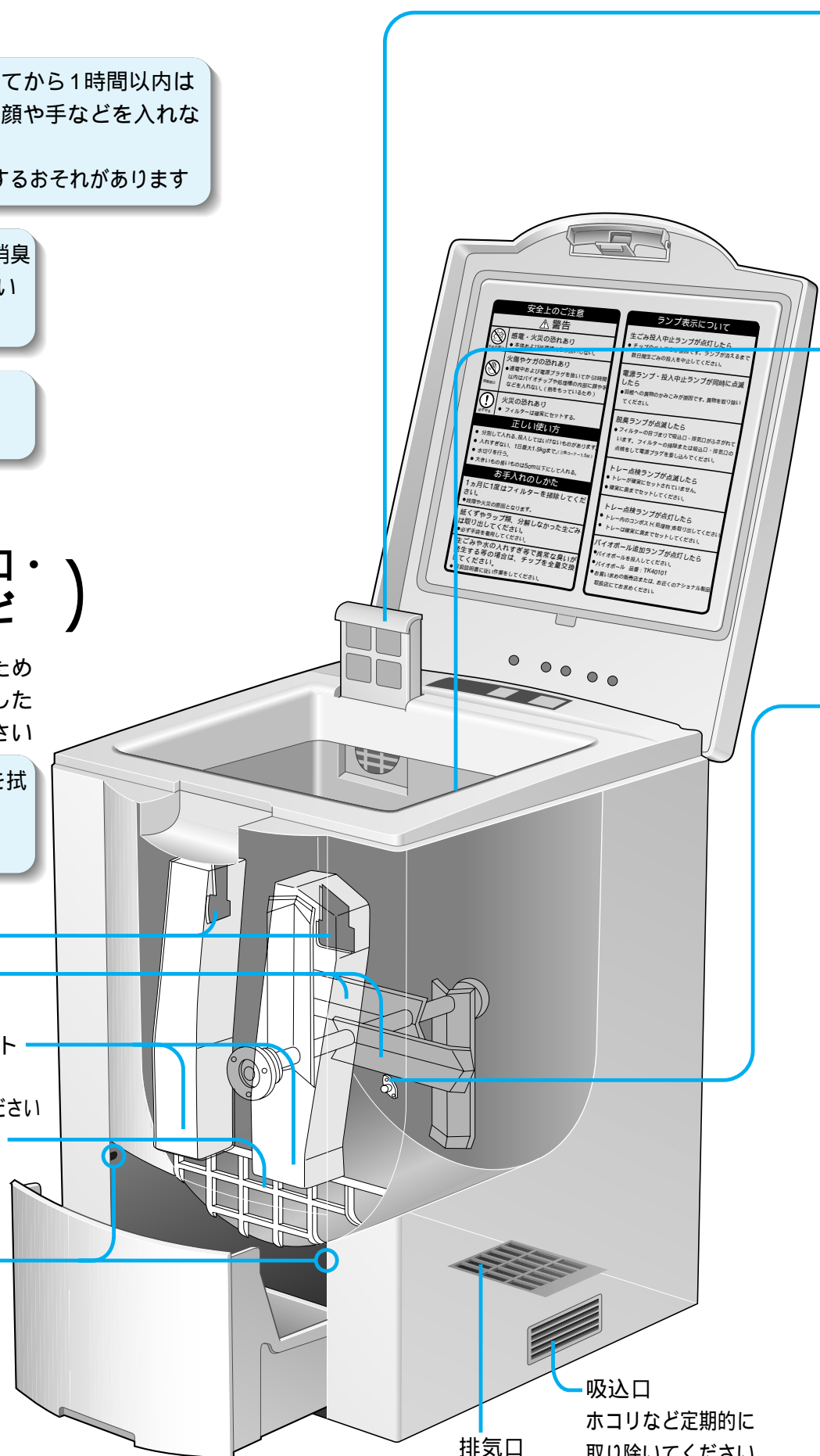
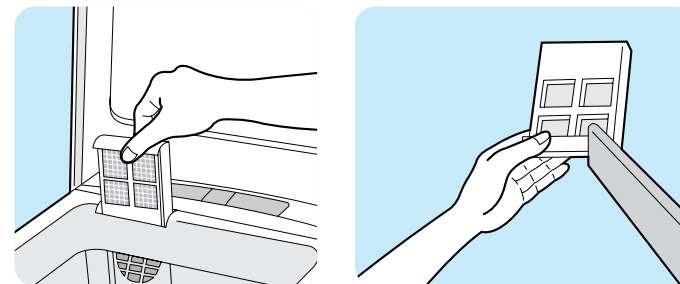
ミキシングフィン（撹拌羽根）

オーバーフローダクト
つまっているコンポスト（処理物）を取り除いてください

チップ取出ふた

満杯センサー
定期的に汚れを拭き取ってください

排気口

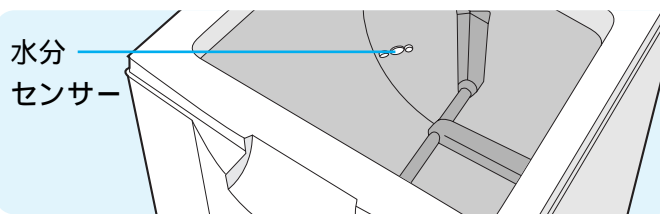
吸込口
ホコリなど定期的に取り除いてください

フィルター

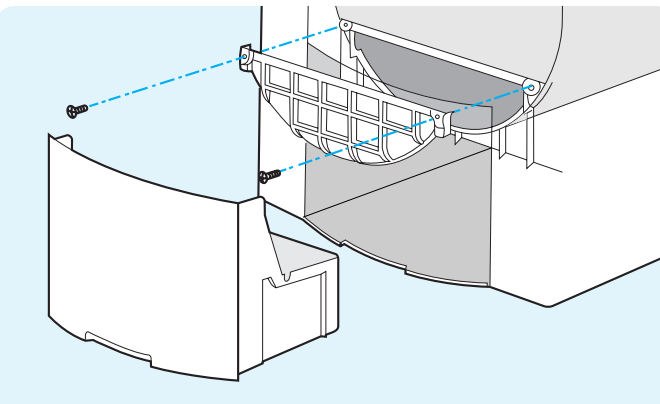
- **フィルターを取り出し、掃除機でホコリを取り除くか水洗いを行ってください（約1ヵ月に1回）**
  水洗いをされた場合は乾いたことを確認してからセットしてください

フィルターは確実にセットしてください
確実にセットされていないと発熱による火災の原因となります。

処理槽内

- **オーバーフロー窓につまっている、生ごみのカスを取り除いてください**
- **異物や分解に時間がかかるものが多い場合は、取り除いてください**
- **バイオチップに触れる時は、必ず手袋・スコップをお使いください**

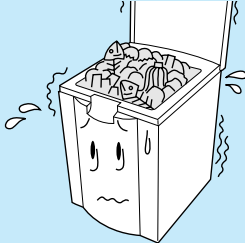
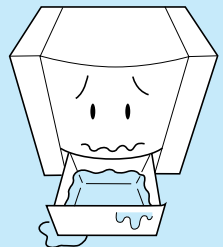
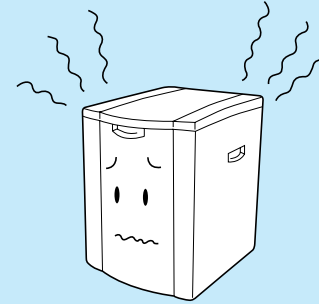
水分センサー

- **水分センサー（処理槽内の金属凸部）にチップが付着している場合は割り箸などを利用して取り除いてください**
  ミキシングフィンに気をつけて手袋をして作業してください
  水分センサーを傷つけないように注意ください

■バイオチップの取り出しが必要な場合は

- 1ヵ月以上ご使用にならない場合や引っ越し・修理・生ごみや水の入れすぎなどでバイオチップの取り出しが必要な場合は、ネジをはずしチップ取出ふたをはずして取り出すことができます。
- チップ取出ふたを取り付けるときは付近に固まっているチップがあれば棒等でくずしてから、ネジで確実に取り付けてください。
- 取り出したバイオチップ・バイオボールの処理方法は（☞16ページ）
- 再使用時は、新しいバイオチップおよびバイオボールをお買い求めの上、9〜10ページの要領で使い始めてください。

別売品　お買い求めの販売店または、お近くのナショナル製品取扱店にてお求めください

入れ替え用バイオチップ（約10L×1袋）
品番：EH43103L
標準価格　1,200円（税別）

バイオボール（約750mL×4袋）
品番：TK40101
標準価格　2,400円（税別）

こんなときは

故障かな？と思ったとき

表示ランプが点灯・点滅した場合は、点検・保守を行ってください（☞5、6ページ）

現　象	原　因	処　置
電源ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
ふたを開けた時 ミキシングフィンが動かない	ふたを開けた為（正常）（ふたが閉まると自動的に動く構造です）	ふたを閉める
異常な音がする	バイオチップ・バイオボールが新しいため、コスレ音がします	そのまま使い続けてください 1週間程度で無くなります
	内部に異物がからまっている	電源プラグを抜いてから安全を確認して異物を取る
生ごみが分解されずに多量に残っている	ふたが開いて、撹拌が止っている	ふたを閉める
	バイオチップ・バイオボールがカラカラの乾燥状態になっている	水を500mL程度均一に散水する
	生ごみの投入量が多すぎる または水切りが不十分である	生ごみの投入を2～3日やめる
トレーに水が入る（下から水がもれる）	生ごみの投入量が多すぎる または水切りが不十分である	もれた水をふきとり生ごみの投入を2～3日やめる
	バイオチップ・バイオボールがあまり乾燥していないのに水を入れた	
	水を入れるとき、均一に入れなかった	じょうろなどで均一に散水する

現　象	原　因	処　置
ふたを閉めた状態で普段より強いにおいがする	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	ふたやトレーがきっちり閉まっていない	ふたやトレーをきっちり閉じる
	異物のかみこみで撹拌していない	電源プラグを抜いてから安全を確認して異物を取る
	生ごみの投入量が多すぎる	生ごみの投入を2～3日やめる
	水分の多いごみや水切り不足でバイオチップがベタついている	
	においの強い生ごみを投入した	一時的ににおいがする場合がありますが、異常ではありません
	バイオチップ・バイオボールがカラカラに乾燥しているため水を加えた	
	分解できないものが溜まっている	電源プラグを抜いてから安全を確認して異物を取り除く
	バイオチップ・バイオボールが減っている	バイオボールを追加する
	バイオボールの追加時期（3ヵ月に1回）が過ぎている	バイオボールを追加する

●**上記の処置を行っても、多量の生ごみが残ったり、においが強いままなどの場合は、バイオチップ及びバイオボールを全量新しいものと交換してください（☞20ページ）**

上記の点検でなお異常がある場合は

現　象	処　置
破損した	**お願い** この様な場合、事故防止のため必ず販売店に点検・修理を依頼してください

保証とアフターサービス（よくお読みください）

この商品には保証書を別途添付しております。

■保証書について

保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。(一般家庭用以外に使用された場合は除きます)
ただし、バイオチップ・バイオボールは消耗品ですから保証期間内でも有料とさせていただきます。

■修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の21～22ページに従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜き、バイオチップ・バイオボールを取り除いてからお買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間中は

お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口(別紙一覧表ご参照)にお問い合わせください。

定格・仕様

<table>
<tr><td colspan="2">品番</td><td>TK401-H</td></tr>
<tr><td colspan="2">名称</td><td>1500タイプ</td></tr>
<tr><td colspan="2">適用</td><td>一般家庭用、屋外設置型</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用地域</td><td>一般地、寒冷地兼用</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>AC 100V　50／60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>最大290W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源コード長さ</td><td>約2m</td></tr>
<tr><td colspan="2">処理能力</td><td>1日最大1.5kgまで</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td>幅350×奥行440×高さ510mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量（重量）</td><td>本体約10kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">運転</td><td>ふたを閉じた時(生ごみ投入時)約2分間撹拌､その後は1～2時間毎に約1分間撹拌</td></tr>
<tr><td rowspan="3">撹拌装置</td><td>回転数</td><td>2回転／分</td></tr>
<tr><td>回転方向</td><td>正・逆転繰り返し</td></tr>
<tr><td>保護装置</td><td>ふた及びトレー開放時の自動停止機能付</td></tr>
<tr><td colspan="2">加熱部保護装置</td><td>温度ヒューズ</td></tr>
</table>

松下電工株式会社　リビング・ライフ事業部
〔〒522-8520〕滋賀県彦根市岡町33
フリーダイヤル（無料）0120-27-3897
受付時間　9：30～12：00・13：00～17：00　祝祭日以外の月～金（ただし休みの場合がございます）